

お知らせ

記者発表資料 平成27年9月25日

■同時発表先：合同庁舎記者クラブ、鳥取県政記者会、島根県政記者会、岡山県政記者クラブ、広島県政記者クラブ、山口県政記者会、山口県政記者クラブ、山口県政滝町記者クラブ、中国地方建設記者クラブ

平成27年度 中国地方整備局入札監視委員会 第二部会第2回定例会議の審議概要について

中国地方整備局入札監視委員会第二部会は、平成27年度第2回定例会議を平成27年9月15日（火）に開催し、平成27年4月1日から平成27年6月30日までの間に契約した工事、建設コンサルタント業務等、役務の提供等及び物品の製造等の中から抽出した5件の事案について、入札及び契約の過程並びに契約内容について審議を行いました。

審議概要については、次頁以降にてお知らせします。

<問い合わせ先>

広島市中区東白島町14-15 NTTクレド白島ビル13階

中国地方整備局入札監視委員会第二部会事務局

082-511-3900（代表）

総務部 総括調整官

はらだ かおる
原田 薫 （内線103）

◎総務部 経理調達課長

みちばた ひろし
道端 宏司 （内線130）

港湾空港部 品質確保室長

たにがわ てつや
谷川 哲也 （内線250）

【広報担当窓口】

広報広聴対策官

ひらかわ まさふみ
平川 雅文 （内線2117）

企画部 環境調整官

た お かずや
田尾 和也 （内線3114）

中国地方整備局入札監視委員会 第二部会 審議概要

開催日及び場所	平成２７年９月１５日（火） 白島庁舎会議室		
委 員	田村 耕一 （広島大学大学院法務研究科教授） 高海 克彦 （山口大学大学院理工学研究科准教授） 大和 資郎 （中国経済連合会常務理事）		
審議対象期間	平成２７年４月１日～平成２７年６月３０日		
抽 出 案 件	計 ５ 件	(備考)	
工 事			
一般競争（政府調達に関する協定適用対象工事）	１ 件	別紙１のとおり	
一般競争（政府調達に関する協定適用対象工事以外）	２ 件	別紙１のとおり	
建設コンサルタント業務等	１ 件	別紙１のとおり	
役務の提供等及び物品の製造等	１ 件	別紙１のとおり	
委員からの意見・質問、それに対する回答等	意見・質問		回 答
	別紙２のとおり		別紙２のとおり
委員会による意見の具申又は勧告の内容	なし		

別紙1

【工事】

(一般競争入札方式:政府調達に関する協定適用対象工事)

工事名	工事種別	競争参加資格を確認した者の数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位:千円)	落札率 (単位:%)
徳山下松港新南陽地区泊地(-12m)等浚渫工事	港湾等しゅんせつ工事	4	4	平成27年6月24日	東洋・みらい特定建設工事共同企業体	974,052	88.94

(一般競争入札方式:政府調達に関する協定適用対象工事以外のもの)

工事名	工事種別	競争参加資格を確認した者の数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位:千円)	落札率 (単位:%)
広島港海岸中央東地区(矢野)護岸(改良)築造工事	港湾土木工事	8	6	平成27年6月1日	東亜建設工業(株)	184,680	88.5
鳥取港千代地区防波堤(第1)(西)築造工事	港湾土木工事	2	2	平成27年5月12日	(株)井木組	174,420	89.73

【建設コンサルタント等業務】

(簡易公募型競争入札方式)

業務名	業種区分	手続への参加資格及び業務実施上の条件を満たす参加表明書の提出者数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位:千円)	落札率 (単位:%)
徳山下松港徳山地区漁業補償調査業務	建設コンサルタント等	3	3	平成27年6月30日	復建調査設計(株)	11,880	77.82

【役務の提供等及び物品の製造等】

(一般競争入札方式)

業務名	業務分類	競争参加資格を確認した者の数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位:千円)	落札率 (単位:%)
車両管理業務	役務の提供等	2	2	平成27年4月1日	日本道路興運(株)	18,589	48.03

議事項目、意見・質問	議事結果、回答
1. 抽出案件の審議 ①「徳山下松港新南陽地区泊地（-12m）等浚渫工事」 ・入札者の2者の入札価格が同じ金額となっているのはどう考えているか。 無効が2者となっているが、施工体制確認資料はいつの時期に提出となるのか。 仮に提出があった場合は、落札となる場合もあるのか。 加算点の合計も同じだった場合の取り扱いはどうになるのか。 ○この入札・契約は適切であると判断します。	浚渫工事であるため、積算が単純な項目であること、また、積算に関する資料をある程度公表しているため、近年、積算の精度が高くなっている結果と考えている。 開札後、調査基準価格を下回る場合は、提出を依頼する。 調査基準価格を下回っていると十分な施工ができるのかということを確認している。資料作成が大変なため、未提出の者もいる。 提出があった場合は当方で評価し、施工体制評価点に点数が入り、評価値が出る。落札となるかは評価値次第であるが、調査基準価格を下回っている場合は、評価値が低くなる傾向があるため、落札は難しい。 評価値が同じ場合はくじ引きとなる。
②「広島港海岸中央東地区（矢野）護岸（改良）築造工事」 1件目の案件と異なり、入札金額にばらつきがあるが、単一の工種ではなく、複数の工種のためか。 整備局が調査基準価格を作成するときはどのように行うのか。 入札結果調書で予定価格超過、辞退者は総合評価に関する点数が入っていないが、点数がなかったものとなるのか。 技術提案のC評価となっている者がいるが、オーバースペックの評価しない提案となっていたのか。 ○この入札・契約は適切であると判断します。	複数の工種のためと考えられる。 独自の積算システムを使用して、積算した後、基準に基づいて算出を行っている。 評価は行っているが、入札時における評価対象要件を予定価格の制限の範囲内である者としているため、入札結果調書上、予定価格超過者や辞退者には点数が入らない。 オーバースペックではなく、工夫が不足しているため、標準案相当となっている。

③「鳥取港千代地区防波堤（第１）（西）築造工事」 一般競争参加資格の等級は、技術者の人数も評価に含まれているのか。 申請で最低限何社以上、何パーセント以上という制限はあるのか。 申請者が１者であっても入札は可能か。 ○この入札・契約は適切であると判断します。	等級決定時には技術者の人数も評価項目に含まれている。 制限はない。技術者が不足して申請できない場合もあるため、制限は設けていない。 可能である。
④「徳山下松港徳山地区漁業補償調査」 価格評価点３０点、技術評価点６０点の配点はどのように決められているのか。 漁業の現況把握についてはどのように評価するのか。 技術提案はどのように評価するのか。 この地域は何の魚が多く獲れるなどの地域の特性は評価するのか。 ○この入札・契約は適切であると判断します。	業務の難易度を勘案し、パターンが決まっており、今回の案件では、１：２の配点となっている。 過去の同種、類似業務の実績、評価テーマを設定することで、評価する。 今回の業務でどれほど理解度があるか、過去にどれだけの経験があるかでの評価を行っている。 地元事情を考慮しているか、また、それらを念頭に調査を行うかにて評価を行う
⑤「車両管理業務」 低入札調査で、労務契約を正しく行っているかをどのように確認しているのか。 実情に応じて、予定価格の変更はありうるのか。 最低賃金は問題ないか。 他にも実績がある会社か。 ○この入札・契約は適切であると判断します。	ヒアリングを行い、運転手は会社を退職された方が多く、人件費を安くすることが可能であることを確認している。 過去何年も全国的な傾向として落札率は低くなっているが、過去の実績も踏まえ、安全性は履行されると判断している。 基準に基づいて行っているため、変更は現在のところ考えていない。 問題ない。 実績は十分にある会社である。

議事項目、意見・質問	議事結果、回答
2. 指名停止等の運用状況の報告 1 件	該当なし
3. 再度入札における一位不動状況の報告 1 件	該当なし
4. 低入札価格調査制度調査対象工事の発生状況の報告 該当なし	
5. 再苦情処理の報告 該当なし	
6. その他（契約解除について） - 本日の審議案件は再度確認を行っているか - 様式、プログラムのチェックで対応するなどの工夫の検討も必要。	同様の案件がないかはすべて確認を行っている。